

令和6年度（令和5年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和6年8月

長南町教育委員会

目次

■	はじめに	・・・・・・・・・・	1
■	令和5年度教育委員会の指針		
	○ 学校教育の指針	・・・・・・・・・・	2
	○ 社会教育の指針	・・・・・・・・・・	3
■	点検・評価結果		
	○ 学校教育の指針		
	（1）「生きる力」の育成	・・・・・・・・	4、5
	（2）言語・体験活動の充実	・・・・・・・・	6、7
	（3）地域とともに歩む学校づくり	・・・・・・・・	8、9
	○ 学校給食の指針		
	（1）心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築	・・・	10、11
	○ 社会教育の指針		
	（1）生涯学習の推進	・・・	12、13
	（2）スポーツの推進	・・・	14、15
	（3）歴史・文化の継承と振興	・・・	16、17
■	資料等		
	○ 主な事業一覧	・・・	18～26

はじめに

1 趣旨

長南町では、第5次総合計画で「人とつながり 地域とつながり 次代へつなげる『ただいま、おかえり』心のふるさと 長南」を目指し、将来像を実現するため、6つの基本方針の1つに「豊かな心を育み生きる力を学べるまち（学校教育・生涯学習）」を推進するため「地域への愛着を醸成し、子どもたちが生まれ育った『まち』に誇りをもって社会に羽ばたけるような教育」や、「すべての世代が生きがいをもって暮らせるまちづくりに向け、生涯にわたる幅広い学習機会の提供や環境整備」に取り組みます。

長南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき「長南町教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、長南町総合計画に位置づけられた施策目標の重点的な取り組みとして「実施計画」に位置づけて実施した、令和5年度の主な施策・事業の成果をもとに、教育委員会が示した主要な指針としています。

3 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価にあたっては施策、事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の対応方向を示します。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きする機会を設け様々なご意見、ご助言をいただきました。

故郷を誇りに人と文化が輝く 長南町の教育

安心

人とつながり 地域とつながり
次世代へつなげる 長南の教育

安全



小学校

長南町教育（小中一貫教育）の推進

中学校



ふるさとを愛し
心豊かでたくましく
確かな学力を身につけた児童の育成

郷土を愛し
未来を拓く創造的な知性と
体力を身につけた心豊かな生徒の育成

学力と「人づくり」の教育

① 「生きる力」の育成

21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子どもを育成するための「生きる力」の育成

人生を拓く「確かな学力」
読み・書き・計算
知 自ら学び、自ら考える子
個に応じた指導と授業改善



思いやりのある「豊かな心」
徳 道徳教育の充実
人との関わり・地域学習



活力にあふれる「健やかな体」
体 健康で丈夫な心身をつくる意欲
健全な生活習慣



② 言語活動・体験活動の充実

主体的・対話的な学び
学習意欲・自己肯定感を
高める



キャリア教育の推進
すべての教育活動で



キラリ輝く長南っ子事業
地域の伝統工芸・文化の継承
本物の芸術に触れる事業



外国語活動の推進
幼稚園・保育所から
スタートする英語活動



③ 地域とともに歩む学校づくり



「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクール
地域学校協働活動の推進

- ◎ 基本的習慣の徹底（自転車の乗り方・好ましい人間関係・学習のきまり等）
- ◎ 不登校〇、いじめ〇への取組（いじめ防止対策基本方針・小中連携）
- ◎ 人権教育、個性伸長の教育、命の大切さの教育の意図的・計画的・継続的な実践

令和5年度社会教育の指針



あなたが主役！
参加してみませんか！長南町の社会教育へ

《社会教育の指針》
人間性あふれる教育文化の向上
 《うるおいと生きがいのある地域づくりをめざして》



長南町の社会教育施設



①生涯学習の推進

学習ニーズ多様化への対応

- 市民のだれでも学べる教室・講座の実施
 - 生涯学習講座（短期集中・単発開催型）
 - 公民館教室（通年開催型）
 - 人権教育支援
 - 家庭教育支援
- 文化団体の学習及び発表の場の提供

青少年の育成支援

- 青少年相談員の活動支援
- 各種体験講座の開催
 - わくわく体験クラブ
 - 子どもものづくり教室
 - プログラミング教室
 - 異文化ふれあい教室

②スポーツの推進

スポーツ教室の開催

武道教室（柔道・空手道）

社会体育関係団体への支援

スポーツ少年団活動・町スポーツ協会活動

スポーツ施設の充実

指定管理者制度による海洋センター運営

スケートパーク長南の新設

③歴史・文化の継承と振興

豊富な歴史文化遺産の維持・継承

歴史・文化資料の保存・研究・展示

文化財の保護と活用

博学連携の推進

生涯学習との連携

学校教育の指針	
施策（１）	「生きる力」の育成
主要課題	２１世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子供を育成するために、「生きる力」の育成を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人生を拓く「確かな学力」 ・思いやりのある「豊かな心」 ・活力にあふれる「健やかな体」
主な取組事業	1) 国際理解教育事業（小学校） 小学校の全学年に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語活動等を行った。（１～６年生・３５回／年） 2) 外国語指導助手業務委託（中学校） 英語科におけるティーム・ティーチングによる指導等を行った。（１～３年生・７０回／年）
課題問題点	ALTの配置については、児童生徒の成長過程に合った教育を行うように、今後、業者の選定を含め配置人数を検討したい。
学識経験者の意見	<p>○２１世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子供たちを育成するために「生きる力」の育成や言語活動・体験活動の充実等、あらゆる角度からの事業を計画し、実施できていることは高く評価できる。</p> <p>ALTを全学年に配置するなど、国際理解教育の一環として有効であると考え。さらに時代の流れや児童生徒の実践を考慮しながら、質の高い教育の推進を願いたい。</p> <p>○ALTの配置については、小中学校全学年に配置されていることは大変評価できる。特に、小学校１・２年生は、独自に教育課程に位置づけられ、早い段階から外国語教育を受けることで国際理解への興味・関心が高まると考える。</p> <p>一方、中学校外国語では、全ての授業でALTが配置されている自治体が多いことから、配置の拡大を進めていただきたい。また、特別支援学級への配置もお願いしたい。</p> <p>○昨年度、事業に学校体育があり、子どもたちの体力向上や心身の健康につながる有意義な事業であった。また、施策（１）「生きる力」の育成として、国際理解・外国語以外の取組として主要課題を実現していくために有効であった。継続もしくは代替（キャリア教育の推進等）の取り組みに期待したい。</p> <p>○小学１年生から毎週１回の英語活動を実施していることは、英語に親しむことから有効であり、高く評価する。</p> <p>今後は、児童の成長過程に沿った到達度を設け、英語を積極的に活用できる児童生徒の育成と指導者の配置人数を検討されたい。</p> <p>○小学校初期の段階から充実したALTの配置による積極的な英語活動は、英語能力向上にとどまらず、国際理解を深め、コミュニケーション能力を育成する観点からも、評価できるものと考え。</p> <p>取組事業が「国際理解・外国語指導」に特化しているが、取り組み内容にある</p>

	<p>「豊かな心」「健やかな体」についても、取組事業の構築を望む。特に小中9年間を通じたキャリア活動は、自主的に学び、学ぶ楽しさも体得でき、生きる力育成に通じると考える。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○小中学校教員の連携をより積極的、計画的に進められたい。</p> <p>○外国語に関して、今後グローバル化してくる日本にとって英語は必須と捉える。日常会話ができるレベルに近づけられるように支援することは、将来、観光産業や飲食、接客業等でも役立つものとなるだろう。国際社会にむけてALTの人員を増やすことは、生徒にとって有意義だと思う。</p> <p>○「生きる力」の育成にむけ、知・徳・体のバランスのとれた取り組みが、更に行われるように望む。</p> <p>○知・徳・体を育むことで「生きる力」の育成に繋げる姿勢は大変共感でき、取り組みも実行されている。然しながら、「国際社会の中で」を強く意識した取組事業に偏りが出ている感がある。希望としては、「人としてブレない軸づくり（対話・哲学）」に取組みむ事業をより加えていくべきと考える。</p>

学校教育の指針	
施策（２）	言語活動・体験活動の充実
主要課題	大集団の中で育てなければならない資質・能力の育成を図りつつ、個を大切にしたいきめ細かい指導の充実を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・統合から6年が経過し、大集団ならではの教育を推進しつつ、個々の考えを大切にする主体的・対話的な学びを目指し教育活動を展開した。 ・キラリ輝く長南っ子事業で特色のある教育への取り組みを図った。
主な取組事業	<p>1) 学習支援指導員・指導主事派遣事業</p> <p>学級内の学習支援体制づくりの支援や、習熟度別指導への支援のために指導員を派遣した。学習支援指導員1名増の7名（小学校4名、中学校3名）また、専門的な知識を有する指導主事（1名）を週に1日配置し、教員の授業力向上のため小学校で指導にあたった。</p> <p>2) キラリ輝く長南っ子事業</p> <p>小中学校において、漢字能力検定、英語技能検定、伝統芸能・文化の体験事業など特色ある教育活動により、郷土への興味・関心を高めるなどコロナ禍以前に戻った体験学習を実施した。</p>
課題問題点	ウイズコロナにおける次年度以降の取り組み。東京家政大学の活用を推し進めていけるように協議したい。
学識経験者の意見	<p>○大集団ならではの教育を推進しつつ、個々の考えを大切にする教育活動展開のため、学習支援指導員や指導主事派遣事業を行ったことは、高く評価できる。</p> <p>キラリ輝く長南っ子事業である漢字能力検定・英語技能検定や特色のある教育活動がコロナ禍以前に戻った体験学習として実施できたことは、関係者や関係機関の努力と工夫であると高く評価できる。今後も引き続き安全・安心に努め、事業の充実を希望する。</p> <p>○学習支援指導員については1名増となり、特別に支援の必要な児童生徒をはじめ、きめ細かな指導に効果的である。指導主事についても、教員の授業力向上が期待でき、共に高く評価できる。</p> <p>漢字や英語の検定については、児童生徒個々が明確な目標をもつことができ、成果に表れることから、主体的な学びにつながる事業である。併せて成果に表れない児童生徒には、何度でも挑戦していく向上心や不屈の精神をもつような指導・支援をお願いしたい。</p> <p>伝統芸能・文化の体験事業などは、子どもたちに本町の伝統や文化に関心をもたせ、本町への愛着や豊かな心を育むと共に、地域交流により、町民が子どもたちの教育に参画できる有意義な活動である。継続かつ拡大していくような活動として推進していただきたい。</p> <p>○学習支援指導員、専門的な知識を有する指導主事を配置し、児童1人1人のニーズ、思考、興味関心を高めた指導法は、とても有効で高く評価する。</p> <p>家庭科教育において、家庭生活を大切にする心情を育み、家族の一員として、生活をより良くしようと工夫する実践的な態度を養う家庭科教育の目指す役割</p>

	<p>は、まさに「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の育成のためにも必要なことなので、東京家政大学の特徴を活かし、小学校高学年、中学校の家庭科の授業に、学生参加の共同授業を実施されたい。</p> <p>○前年度より更に1名増の学習支援員、また教師の指導力向上のための指導主事の配置は、個々の主体性を伸ばし、きめ細やかな指導を図るうえで、大きく評価できる。</p> <p>漢字能力検定、英語技能検定は、学習への目標を持たせ、その成果を実感できる取り組みとして期待できる。併せて、これらの検定で成果が表れない児童生徒がいる現状にも配慮し、過度な競争をあおることなく、様々な分野への扉を提示して、関心・意欲や能力を育成する取り組みを望む。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○学習支援指導員、指導主事派遣は、一人一人きめ細かな指導ができ、児童生徒の学力向上と教員の指導力向上に有効であったと評価する。</p> <p>○今日、携帯電話が辞書の替わりとなっているが、漢字能力検定は引き続き教育活動として取り組むことを望む。</p> <p>○キラリ輝く長南っ子事業は、小中教育9年間の連続した指導を通して、郷土に対する興味・関心を高めるものとして評価する。今後も地域の協力をいただきながら継続していくよう望む。</p> <p>○各事業に取り組み・実施することで良い効果があったと感じる。引き続き、効果的な取り組みとして継続していくべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語学検定事業では、「言語力・コミュニケーション力」の向上 ・伝統芸能・文化体験事業では、「感性力」の向上 ・合同鑑賞会では、「科学的発想力」の向上 など。

学校教育の指針	
施策（３）	地域とともに歩む学校づくり
主要課題	小中一貫教育の推進を図るとともに、町内唯一の小学校、中学校であることを踏まえ、地域から信頼され、地域から応援される学校づくりのため「地域に開かれた教育課程」の実現を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進に向けた教員間の連携 ・地域人材の活用による「ふるさと学習（郷育）」の一層の推進 ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の推進
主な取組事業	<p>1) 小中一貫教育の推進に向けて、小中学校の交流事業（教員相互の授業参観、兼務職員の配置、PTA奉仕作業等）を実施した。また、中学校教諭（英語科2名、理科2名）に兼務発令を行い、小学校の学習支援を行った。</p> <p>2) 地域人材を活用した様々なふるさと学習（郷育）を積極的に推進し、地域の人々との交流を大切にすることで、地域の活性化とともに、長南が好きな子どもの育成を図る。</p> <p>3) 地域のボランティアを活用した子どもたちの見守り活動（スクールバス見守りボランティア：登録数22名）等の充実</p> <p>4) 地域学校協働本部 放課後の楽しい体験や昔遊び工作、異学年交流を行う「放課後子供教室」を開催し143名が参加した。</p>
課題問題点	昨年度の課題問題点からコーディネーター1名を増員（計3名）したが、連絡・調整とともに地域人材の把握が更に必要であることから、随時検討する。また、「放課後子供教室」について、活動の方向性や内容の吟味など考えていきたい。
学識経験者の意見	<p>○小中一貫教育の推進に向け教員相互の授業参観や兼務発令を行い、小学校の学習支援を行う等、積極的な推進は高く評価できる。</p> <p>「長南が好きな子ども」の育成を図るため、地域の人材を活用し地域とともに歩む学校づくりの推進も高く評価できる。</p> <p>「放課後子供教室」のさらなる発展に期待する。</p> <p>○小中一貫教育として、交流事業は、児童生徒や教員が日々関わることであり、中核を担う事業である。相互授業や兼務職員の配置、行事、部活動など具体的な取り組みを進め、さらに充実させていただきたい。</p> <p>ふるさと学習は、本町ならではの教育として、大変有意義な事業だと評価できる。地域人材確保や新規事業の開発など、引き続き進めさせていただきたい。</p> <p>見守り活動は、子どもたちの登下校の安心安全を指導・支援していただいております、大変感謝している。</p> <p>地域学校協働本部3年目、より充実させていただきたい。</p> <p>○「放課後子供教室」では、参加児童も増え、活動内容にも変化が出てきており多様な取り組みがなされており高く評価する。</p> <p>地域の人々が自ら子どもたちの教育に関わろうとする意欲を持ち、教育環境の充実を図ることは、子どもたちの健全な成長に資するのはもちろんのこと、そこ</p>

	<p>に住むすべての人々の豊かな関係づくり、そして地域の活性化へとつながり、こうした地域教育の充実は、学校教育にとっても大きな力となっているので、高く評価する。今後も継続し充実されたい。</p> <p>○小中一貫教育の推進は、交流事業や中学校教諭の兼務によって、より充実しているものと期待する。併せて、小中学校のスムーズな接続が不登校解消につながっているか、その検証も望む。</p> <p>放課後子供教室は、教師の負担軽減を図りながら子供の居場所を作り、現代の子どもたちだけでは体験できない活動が行われているものであり、大いに評価できる。地域人材の協力に感謝するとともに、過度な負担にならないよう、できる時にできることを協力するというスタンスで継続は図ってほしい。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○長南っ子として成長していく子供たちにとって、地域と深く関わっていくことは大変素晴らしいと評価する。そのための地域の方々のご協力に感謝する。</p> <p>○様々な取組事業を行っていることを評価する。特に、小中一貫教育の推進に向けて、中学校教諭に兼務発令を行い小学校の学習支援に取り組んだことは、素晴らしい。ただし、兼務職員の負担や多忙にならないように注意されたい。</p> <p>○良い取り組みが出来ていたと感じる。継続して地域人材の活用と郷育を進め、子供たちを育て・守る活動を推進していくべきと考える。</p> <p>地域学校協働本部の活動内容の見える化をより促進されたい。</p>

学校給食の指針	
施策（１）	心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎構築
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。 ・学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。 ・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。 ・食料の生産、配分及び消費について、正しい理解に導く。
取組内容	<p>学校給食法に基づき、児童・生徒及び職員等を対象に安全・安心な給食を小学校に195日、中学校に196日提供した。</p> <p>また、本年度から調理業務を委託し安定的な供給に努めている。</p>
主な取組事業	<p>1) 給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の児童生徒及び教職員等414人に、79,126食の給食を提供した。 ・週5日の内、米飯給食(長南産コシヒカリ)4日、パン・麺類給食を1日提供した。 <p>2) 啓発活動</p> <p>給食だよりを月1回初旬(8月を除く)に発行し、児童・生徒を通じて家庭への啓発を行った。</p> <p>3) 食育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の給食時訪問として小中学校各クラス1回以上、給食時に訪問し食育の講話を行った。 ・食育の場として、10月に入学前児童の保護者を対象に「食育」に関する講話を栄養士が実施した。 <p>4) 残菜率(目標10%以下)</p> <p>食育の取り組みや調理の工夫などにより、目標を達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校8.85%(比較△1.15) ・中学校10.0%(比較±0) <p>5) 食物アレルギー対応</p> <p>食物アレルギー児童6人・生徒2人の保護者に「予定献立表(保護者選択用)」を配布し、事前にアレルギー食物の含まれる献立を把握してもらい、食物アレルギー児童・生徒に配慮した給食の提供に努めた。</p> <p>6) 調理業務の委託</p> <p>給食の提供(味付け、量、温度管理、提供時間など)については、問題なく運営できた。</p>

<p>課題問題点</p>	<p>令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したものの、今後も一定の流行が続くと予想されており、引き続き感染対策が求められている。</p> <p>学校給食の安定供給には、今後も、衛生管理（手洗い・手指消毒・マスクの着用・体調管理）と感染予防対策（密回避・換気）が必要であり、民間事業者の有する専門知識・高い技術力を活用しながら安全・安心な給食に努めていく。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○きめ細やかな対応で安心・安全な給食を提供できたことは、高く評価できる。</p> <p>また、食育事業の一つとして、栄養士による給食時間訪問の講話は、今後も引き続きお願いしたい。</p> <p>児童生徒が楽しみにしている学校給食のさらなる充実を希望する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の対応は、他の感染症や食中毒への対応にもつながり評価できる。引き続き、取り組んでいただきたい。</p> <p>小中学校の全クラスに栄養士が給食時に食育の講話をすることは、大変素晴らしい。また、入学前児童の保護者への講話は、本町独自の取り組みであり、早期から食育への意識付けをすることは効果的である。</p> <p>かねてから要望のあった調理業務の委託が実現できたことは、安心・安全に加え、人材確保、安定供給の面からも高く評価できる。</p> <p>○コロナ禍を乗り切った給食関係従事者の活動を高く評価したい。</p> <p>残菜率（目標10%以下）の目標達成が出来ていることは評価する。</p> <p>「美味しい給食」で、児童生徒が楽しみにしていることがうかがえる。</p> <p>月1回の給食だよりには、家庭での食生活に関わる大切なことが記載されている。低・中学年は親子で内容を共有し、家庭での食生活の改善の一助になるよう学校と連携されたい。</p> <p>○給食費の実質無償化は、保護者の家計負担を軽減、教師の業務・精神的負担を軽減できるほか、子どもも安心して登校できるものであり、大いに評価できる。</p> <p>食物アレルギー対応にも、一人一人の食物アレルギー児童生徒に配慮した取り組みを評価する。栄養士、栄養教諭による児童生徒や保護者への講話や給食だよりは、望ましい食事や栄養バランスの大切さ等を啓発するものであり評価する。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○引き続き安心・安全な給食の提供に努められたい。</p> <p>○児童・生徒に安心安全であり、おいしい給食が毎日提供されていることは、児童・生徒、保護者にとってありがたく高く評価する。残菜率も目標値を達成し、食育教育や調理の工夫の成果が表れていると感じる。今後も学校民間業者との連携をとり、安全で安定的な供給に努められたい。</p> <p>○引き続き安心安全な給食が安定的に供給されるよう、現状維持ではなく継続した改善・改良を進められたい。</p>

社会教育の指針	
施策（１）	生涯学習の推進
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ニーズ多様化への対応 ・青少年の育成支援 ・中央公民館の整備
取組内容	住民の学びと交流の場となる拠点づくりの推進 幅広い世代が学べる生涯学習体制の構築
主な取組事業	1) 通年開催型教室の開催 通年開催型教室として、13教室（野菜園芸・民謡・えいごA・えいごB・そば打ち・クイリングペーパー・高齢者・歴史・子どもものづくり・健康運動・スマホ・ICTプログラミング・異文化ふれあい）を開催した。 *原則年10回（子どもものづくりは年6回、高齢者は年5回） 2) 短期集中型・単発開催型教室の開催 ①まちなか星空観測会 11月20日 参加者28名 ②PC・スマホ集中講座 11～3月（8講座）参加者483名 3) わくわく体験講座の開催 ①アロマワックスサシェ教室 8月27日 参加者17名 ②アジのひものを作ろう 3月20日 参加者10名 4) 青少年相談員連絡協議会活動事業 ①美化運動(春/冬) ②子どもまつり in 長南 5月3日 参加 ③水合戦～Water Battle～開催 7月22日 ④長南小6年生修学旅行随行支援 9月21日 ⑤長南フェスティバル2023参加 11月3日
課題問題点	令和5年度は通年開催型教室へ昇格した健康運動体操や、文部科学省の補助事業として実施したデジタルリテラシー向上集中講座などが、新たな需要の発掘として成果を上げた。その一方で、令和4年度を以って満了となった3教室が、自主サークルとして存続することなく消滅してしまうなど、3教室すべてが”学びの種まき”として上手くいかなかった、という点は今後のために、正確な分析が必要と考えられる。
学識経験者の意見	○それぞれ町民のニーズを考慮し、楽しみながら活動する様子が読み取れ評価したい。さらなる発展として、上手くいかなかった点は正確な分析が必要とのこと、前向きな取り組みはすばらしい。今後も町民のためになる生涯学習の推進を願いたい。 ○通年開催型教室が10から13教室に増えたことは、多種多様な学びのニーズに対応することができ、大いに評価できる。また、短期集中型教室としてPC・スマホ集中講座の参加者が483名と多く、社会教育として時代に適した学びを扱う教室として大変有意義であると考えます。 ○新規2教室の町民のニーズをどう継続していくか、公民館運営審議会を通して協議されたい。

	<p>○公民館事業の継続は、地域人材を活用する仕組みが十分に構築されていなかったり、公民館講座で学んだ成果を町民が地域へ還元できる仕組みが不十分であったりする等の課題があるので、幅広く現状や課題を解決できるよう努められたい。</p> <p>児童生徒から高齢者にいたるまで、幅広い年齢層を対象とした公民館事業は評価したい。</p> <p>特に夏休み等の長期休暇での若い世代の公民館利用を即したい。例えば、小中学生を対象とした学習相談を開設し、講師には退職教師だけでなく、長期休暇に入った大学生などを募集してはどうか。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○様々な教室が開催できていることを評価する。今後もニーズに応じながら、充実した運営ができることを望む。</p> <p>○様々な年代、町民を対象とした多数の教室が開催されていることを評価する。今後も町民の要望にそった教室が長く開催されることを望む。また、中央公民館の整備が早く行われ、町民のつどいの場となることを望む。</p> <p>○この活動はとても素晴らしいものです。取組内容にある「幅広い世代が学べる生涯学習の構築」を推進するためにも、情報発信の手法を増やし、参加者・参加世代を増やしていくべきと考える。</p>

社会教育の指針	
施策（２）	スポーツの推進
主要課題	生涯スポーツの重要性
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた青少年の育成支援 ・スポーツ施設の充実
主な取組事業	<p>1) スポーツ教室の開催</p> <p>武道教室 ○柔道 毎週月・水・金曜日 18:30～21:00 教室生9名 ○空手道 毎週土曜日 18:30～20:30 教室生26名</p> <p>2) 社会体育関係団体への支援</p> <p>スポーツ少年団活動（軟式野球、ミニバスケットボール）、 町スポーツ協会活動</p> <p>3) スポーツイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長南オープンゴルフ大会（町スポーツ協会主催） 6月6日 参加者61名 ・町民バレーボール大会（町スポーツ協会主催） 6月18日 参加者93名 ・第21回町民ウォーキング大会（町スポーツ協会主催） 2月18日 参加者66名 ・その他、千葉県B&Gスポーツ大会【水泳の部】・バレーボール大会（千葉県B&G財団地域海洋センター連絡協議会主催） <p>4) スケートパーク長南 7月1日付けで教育委員会に移管</p> <p>アーバンスポーツ（都市型スポーツ）を通じた、青少年の健全育成</p>
課題問題点	<p>多くのスポーツイベントが復活し、また、令和5年度は千葉県B&G財団地域海洋センター連絡協議会の事務局であったため、当該団体主催の大会も本町で開催されるなど、スポーツイベントが盛況な一年となった。その一方で、5年度まで休止となっている町民体育祭に替わるスポーツイベントの具体案は定まっておらず、また、スケートパーク長南が新設され、本町の今後のスポーツ施策に”アーバンスポーツ”をどう取り込んでゆくかも課題である。</p>
学識経験者の意見	<p>○生涯スポーツの重要性を考え、青少年の育成支援やスポーツ施設の充実、また事務局として大会運営等々、様々な場面での活動は高く評価したい。</p> <p>今後も安全を考慮し、町民の笑顔があふれる楽しく充実した運営を引き続き進められたい。</p> <p>○スポーツイベントの再開は、町の活気を伴い評価できる。健康志向が強い昨今、生涯スポーツの充実は町の大きな魅力になり得ると考えることからお願いしたい。</p> <p>学校における部活動の地域移行については、難しい課題もあるだろうが、全国や県、近隣市町村の動向をキャッチしながら学校と協議を重ね、確実に進めていただきたい。</p> <p>○スポーツ推進委員の活動を通して、町民の生涯スポーツ活動の推進や体力づくり、社会体育スポーツの普及に努めることを懇願したい。</p>

	<p>また、中学校の部活動地域移行に向けて、B&G体育館の耐震工事やコートラインの改修を計画的に進められたい。</p> <p>2020東京オリンピック後から「アーバンスポーツ」が普及し、自ら楽しみ、仲間や観る人たちも一体となっていたのしむことが優先されてきたので、まさにスケートボードは、今後の町おこしや青少年のスポーツとして町をあげて普及活動に力を注がれたい。</p> <p>施設運営への民間活力導入が具体的にどう行われているか。</p> <p>○学校での部活動の地域移行が進められるなか、スポーツ少年団活動が活発に行われていることは、大いに評価できる。ただし、子ども目線から考えると、学校部活動の意義は十分あるのではないかと。時代の流れに逆行する必要はないが、子どもの要望を把握しながら、部活動のあり方について検討していくことを望む。</p>
委員会の評価	<p>○スケートパーク長南では、町内・町外の参加者を取り込んで、教室の開催やイベント等も検討されたい。</p> <p>○少子化や子供のスポーツ離れがある中、指導者等のご尽力により子供たちに対するスポーツ教室等が開催されていることは評価するが、町民だれでも気軽に楽しめるスポーツクラブのようなものがあるのも良いのではないかと。</p> <p>○1ショット開催や独立イベントは、局所的な盛り上がりは作れるものの、町全体に好影響を拡げることが期待しづらいと感じる。それぞれのイベントを上手に連携させた事業を作り出すアイデアを見出していく必要がある。</p>

社会教育の指針	
施策（3）	歴史・文化の継承と振興
主要課題	豊富な歴史文化遺産の維持・継承
取組内容	町内の歴史・文化遺産の保護と活用
主な取組事業	<p>1) 県指定史跡油殿古墳群 史跡内下刈（年2回）</p> <p>2) 資料館収蔵写真のデジタル化作業</p> <p>3) 郷土資料館出前展示 「長南つなぐ市」に郷土資料館の展示ブースを設けた。 4月30日「古写真に見る農作業の変遷」 12月3日「町内出土の遺跡のパネル写真と実物の土器」</p> <p>4) 博学連携 資料館収蔵の郷土資料を「見て・触れる」学習 7月18日 長南中1年生 町内の遺跡と出土遺物の学習 9月12日 長南小4年生 芝原人形作り体験事前学習 2月27日 長南小3年生 「昔の道具」学習</p> <p>5) 文化財・史跡標識のリニューアル 老朽化した標識の劣化部分の交換 ①旧大多喜街道（市野々） ②鰐口（地引・妙覚寺）</p> <p>6) 文化庁技官による現地調査 10月6日 重要文化財笠森寺観音堂防災設備改修に備えた現地調査</p>
課題問題点	<p>前年度からの懸案であった笠森寺観音堂防災設備改修は、国庫補助事業化に向けて文化庁技官による現況調査を行ったが、これまでの改修工事の際に設計管理を行っていた（公財）文化財建造物保存技術協会が、現在は建造物本体の改修事業以外は受託していないため、国庫補助事業の適正な実施のために重文建造物の防災設備に実績がある設計事務所を探すことが求められている。</p> <p>また、合併70周年に向けては、資料館での展示企画を計画しておきたい。</p>
学識経験者の意見	<p>○長南町の豊富な歴史文化遺産の維持・継承として「長南つなぐ市」に郷土資料館の展示ブースを設けたり、博学連携として積極的な運営をしたりと、大変有意義で高く評価したい。</p> <p>また、合併70周年に向けての企画は、時代の変化や町民からのニーズ、要望等に応じながら展開されて、それらが本町のさらなる発展につながるよう期待する。</p> <p>○町内の歴史・文化遺産の保護と活用は、大変重要である。展示ブース等により広く紹介することは、よい活動である。新たな発見や失われつつあるものを何らかの形で残していくことにも力を入れてほしい。</p> <p>笠森寺観音堂は、本町のシンボルとも言える文化財なので、早急かつ確実な対応をお願いしたい。</p> <p>博学連携については、小・中学校で資料館収蔵の郷土資料を「見て・触れる」学習を行っていることから、児童生徒にとって実感を伴った学びとなっており、</p>

	<p>郷土の歴史や文化を知ることからも大変有効であると考える。</p> <p>○笠森寺観音堂防災設備改修は、早急に実績のある設計事務所を探して実施してもらいたい。</p> <p>郷土資料館を身近な存在にするために、様々なイベントを通して企画展示の工夫をしていることは素晴らしい活動で継続してほしい。</p> <p>○芝原人形、袖凧、べに花染め等の芸術・文化体験を小中学校の教育活動の一環として取り入れていることは、長南独自の歴史・文化を次世代に伝承していくうえで、たいへん貴重であり、引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>2基の前方後円墳や日本唯一の四方懸造りの笠森観音は、長南町が誇る歴史的に貴重な文化財である。国庫補助を受け、その維持管理に努められたい。</p>
<p>委員会の評価</p>	<p>○町内の歴史・文化遺産の保護と活用に向けた、様々な取り組みを評価する。資料館の出前展示は、良いアイデアである。町の文化遺産について、町民にもっと知ってもらうための広報活動を今後も継続されたい。</p> <p>○引き続き、歴史・文化遺産の維持・継承への取り組みを願いたい。「長南町人の根っこ」をしっかりと支えるための活動の、より良い継続を願う。</p>

資 料

主 な 事業名	事業費 千円	事 業 内 容	成 果
キラリ輝く 長南っ子 事業	2,242	漢字能力検定・英語技能検定事業、伝統芸能・文化体験事業、特色のある教育などの活動に取り組む。	基礎学力の向上とともに、伝統文化等に触れることで、郷土愛を育むことができた。
		◆長南小学校 1. 漢字能力検定事業（全学年） 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①芝原人形作り（4年生） ②古代米体験（5年生） ③太巻き寿司体験（5年生） ④縄ない体験（5年生） ⑤生け花体験（6年生） 3. ふるさと体験学習 ①保育所、保育園との交流（1年生） ②町内職場見学（2年生） ③町内特産物学習（3年生）	1. 漢字能力検定事業 漢字検定への取り組みを通して、児童の学習意欲が高まり、学習への習慣化が図れた。 2. 伝統芸能・文化体験事業 ・地域の伝統に触れ、創作活動を楽しむことができた。 3. ふるさと体験学習 ・幼、保、小の連携と相互交流が図れた。 ・地域の人々との触れ合いにより、長南町への関心を高めることができた。
		◆長南中学校 1. 検定事業 ①漢字能力検定事業（全学年） ②英語技能検定事業（全学年） 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①べに花染め（1年生） ②袖凧作り（1年生）	1. 検定事業 検定事業は、全校で取り組むことができ、漢字・英語に興味関心を持って、意欲的に取り組んだ。 2. 伝統芸能・文化体験事業 べに花染めは、その歴史を学ぶとともに染め色の難しさや不思議を体験できて生徒に良い経験となった。また、伝統の袖凧作成により郷土の文化に触れ、故郷の良さを再認識できた。
		◆合同鑑賞会 「サイエンスショー」 米村でんじろうサイエンスプロダクション	小中学校合同 科学実験を多彩な演出を加えてショースタイルで表現した、教育とエンターテイメントを融合させたサイエンスショーにより、身の回りにある身近な道具を使用し、科学の楽しさと夢を直接体験することができた。

【事業一覧】

学校教育係

主 な 事業名	事業費 千円	事業内容	成 果
給食費補助 金交付事業 (給食費無 償化)	16,978	学校給食費の補助金を交付することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実及び子育てを支援する。	保護者の教育費負担を軽減することにより、子育てを支援することができた。

(1) 実施事業等

教育支援委員会

①第1回長南町教育支援会議 令和5年7月6日(木)

- ・教育支援委員会委員長の選任について
- ・教育支援について

②第2回長南町教育支援会議 令和5年11月16日(木)

- ・入級予定者の審議、判定について
- ・就学时健康診断結果について

(2) 学校関係

①東上総教育事務所 次長訪問 令和5年7月7日(金) 長南小学校

②東上総教育事務所 所長訪問 令和5年9月29日(金) 長南中学校

【給食事業】

給食所

	児童・生徒数 (人)	職員数等(人)	給食数(食)
長南小学校	229	26	48,632
長南中学校	123	23	27,800
給食所	—	11 保存食2	2,298 396
合計	352	62	79,126

主 な 事業名	事業費 千円	事 業 内 容
社会教育 事 業	1,660	<p>町民の学習要求、地域の実情に応じた講座、行事等の開催</p> <p>1. わくわく体験クラブ ①アロマワックスサシェ教室 8月27日(日):17名 ②アジの干物を作ろう 3月20日(水・祝):10名</p> <p>2. 外部委託体験教室(長南集学校) 参加延べ人数:73名 ①プログラミング教室 ②異文化ふれあい教室</p> <p>3. 七歳児合同祝い 参加者数:37名 11月14日(火)長南保育所(長生学園幼稚園と合同)</p> <p>4. ふれあいコンサート 参加者数:60名 12月10日(日)中央公民館 ハンドベル演奏</p> <p>4. 成人式 参加者数:44名 1月7日(日)農村環境改善センター</p> <p>5. 青少年相談員 相談員延べ参加者数:88名 ①子ども祭りin長南 参加 5月3日(水・祝) ②春季環境美化運動 5月21日(日) ③水合戦 ~Water Battle~ 7月22日(土) ④長南小学校修学旅行 同行支援 9月21日(木) ⑤長南フェスティバル2023 参加 11月3日(金・祝) ⑥長生地区「少年の日・スポレク大会」 参加 11月19日(日) ⑦長南町「少年の日・スポレク大会」 1月14日(日)</p>

主 な 事業名	事業費 千円	事 業 内 容
公 民 館 事 業	1,198	<p>町民の誰でも学べる教室・講座の開催</p> <p>1. 子ども祭り in 長南 中央公民館 参加者：300名 5月3日（水・祝）</p> <p>2. 公民館教室 参加延べ人数：946名 ①野菜園芸教室（10回）：126名 ②民謡教室（9回）：35名 ③クイリングペーパー教室（5回）：43名 ④えいご教室A（10回）：74名 ⑤えいご教室B（10回）：60名 ⑥そば打ち教室（10回）：79名 ⑦スマホ教室（10回）：187名 ⑧こどもものづくり教室（6回）：77名 ⑨健康運動教室（10回）：192名</p> <p>3. 短期集中教室・単発講座 ①星空観賞会 陸上競技場 11月20日（月）参加者：28名 ②PC・スマホ集中講座 11～3月（8講座）参加延べ人数483名</p> <p>4. 町民文化祭 中央公民館 参加者：500名 10月29日（日）芸能発表会 11月1日（水）～5日（日）合同作品展</p>
資 料 館 整 理	218	<p>資料館収蔵資料整理作業 郷土資料館 4～3月 作業員3名</p>
文 化 財 保 護	1,229	<p>指定文化財等の保護・活用</p> <p>1. 県指定史跡 油殿古墳群の草刈 年2回（8月、12月）</p> <p>2. 指定文化財説明板の設置 町内文化財・史跡の説明板のリニューアル</p>
社 会 同 和 事 業	50	<p>人権講演会 中央公民館 参加者：37人 「インターネットと人権侵害」～被害者にも加害者にもならない努力～ 1月13日（月）</p>

主 な 事業名	事業費 千円	事 業 内 容	成 果
社会体育 事 業	2,433	◆武道教室 長南中学校 尚武館 ・柔道教室 ・空手道教室	教室生9名、講師6名 教室生26名、講師8名
		◆水泳教室（指定管理者事業として実施） B&G海洋センタープール 7～8月 火・木曜日 18：00～19：30 計10回実施	教室生58名、講師5名
		◆長南グリーンウェーブ スポーツ少年団 1. 軟式野球 町野球場、町陸上競技場 毎週土曜日 9：00～17：00 毎週日曜日 9：00～17：00 2. ミニバスケットボール 町体育館 毎週土・日曜日 9：00～12：00 毎週木曜日 17：00～19：00	団員10名、指導者6名 団員8名、指導者5名
		◆スポーツ協会関係 1. 長南オープンゴルフ大会 6月6日（火）長南パブリック コース 2. バレーボール大会 6月18（日）町体育館 3. 長生郡民スポーツ大会 6～7月 主会場：一宮町 4. 町民ウォーキング大会 2月18日（日） 「称念寺・長福寿寺・豊栄神社を 見に行こう」約8km	参加者：61名 参加者：93名 参加者：66名
		◆スポーツ推進委員関係 雪国体験ツアー 2月9日（金）～11日（日） 新潟県妙高市 国立妙高青少年自然の家	参加者：27名 スポーツ推進委員、講師：5名

【教育委員会会議関係】

定例会 12回

開催日	議決事項	協議事項
<p>第4回定例会 (4月25日)</p>	<p>(1) 長南町給食所設置条例の一部を改正する条例の制定について (2) 長南町立学校県費負担教職員の旧姓使用に関する取扱要綱の制定について (3) 令和5年度就学援助対象児童生徒の認定について (4) 長南町教育支援員の委嘱について (5) 長南町奨学事業運営審議会委員の委嘱について (6) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について</p>	<p>(1) 教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について</p>
<p>第5回定例会 (5月24日)</p>	<p>(1) スケートパーク長南の設置・管理及び運営に関する条例の制定について (2) 長南町学校運営協議会委員の委嘱について (3) 長南町地域学校協働本部運営委員会委員の委嘱について (4) 長南町社会教育委員の委嘱について (5) 長南町青少年問題協議会委員の委嘱について (6) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (7) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について (8) 長南町スポーツ推進審議会委員の委嘱について (9) 長南町給食所運営委員会委員の委嘱について</p>	
<p>第6回定例会 (6月23日)</p>	<p>(1) スケートパーク長南の設置・管理及び運営に関する条例施行規則の制定について</p>	<p>(1) 「ENGLISH IN 河口湖」について</p>
<p>第7回定例会 (7月25日)</p>	<p>(1) 長南町Wi-Fiルーター貸与事業実施要綱の制定について (2) 令和6年度使用教科用図書の採択について (3) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について</p>	<p>(1) 令和5年度(令和4年度対象)教育委員会の点検・評価について</p>

第8回定例会 (8月25日)		(1) 令和5年度(令和4年度対象)教育委員会の点検・評価について (2) 学校給食(牛乳)について
第9回定例会 (9月26日)	(1) 長南町学校給食口座振替収納事務取扱要綱の一部を改正する告示の制定について	(1) 令和5年度(令和4年度対象)教育委員会の点検・評価について (2) 令和5年度七歳児合同祝について (3) 学校給食(牛乳)について
第10回定例会 (10月24日)	(1) 令和5年度就学援助対象児童生徒の認定について (2) 令和5年度文化奨励表彰について	(1) 令和5年度町民文化祭について (2) 令和5年度成人式について
第11回定例会 (11月24日)	(1) 長南町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について (2) 長南町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令について (3) 長南町立小中学校の出席停止命令に関する要綱の一部を改正する告示について (4) 長南町立小学校及び中学校の学校評議員の設置及び運営に関する要綱を廃止する告示について (5) 海洋センターの指定管理者の公募について	(1) 令和5年度ふれあいコンサートについて
第12回定例会 (12月25日)	(1) 長南町家庭教育支援チーム設置要綱の制定について	(1) スケートパーク長南の指定管理者制度の導入について (2) 令和5年度人権講演会について (3) 令和5年度雪国体験ツアーについて
第1回定例会 (1月22日)	(1) 長南町の公の施設(海洋センター)の指定管理者の指定について (2) 長南町の公の施設(スケートパーク長南)の指定管理者の指定について (3) 長南町給食所運営規程の一部を改正する規程の制定について (4) 令和5年度入学準備金支給対象者(令和6年度小学校入学予定者)の認定について	

<p>第2回定例会 (2月22日)</p>	<p>(1) 令和6年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定について (2) 令和6年度長南町一般会計予算(案)について</p>	
<p>第3回定例会 (3月26日)</p>	<p>(1) 令和6年度長南町教育委員会教育課会計年度任用職員の任用について</p>	